



# 大教大 支援ルーム合宿で 音楽会を開催

## 1.合宿開催のきっかけ

本学には、聴覚障がい学生が4人、視覚障がい学生が1人と支援登録学生が約60人在籍しています  
今年度支援ルームを新設するにあたり、**支援の心構えや配慮すべきことを共有**するため、支援ルームの研修合宿を開催しました

## 音楽会開催のきっかけ

その視覚障がい学生が声楽を専攻しており、**日頃の支援に対するお礼として合宿で歌を披露したい**という申し出がありました

## 3.さあ、本番！



歌い手は黒スーツにネクタイ、伴奏者はドレスを着て、**リサイタル風**に歌いました

歌詞を投影しながら歌詞を朗読し、曲紹介の後、歌と手話通訳を行いました

**歌に合わせて、表情と感情豊かな手話がなされて、手話が歌っているようにも見えました**

### 支援協力学生は♪

耳栓やアイマスクをしましたが、どの手段でも歌う人の気持ち伝わりました

歌と手話のコラボレーションが、とても感動的だった

### 聴覚障がいの学生は♪

音楽は工夫すれば楽しめるものだから、聞こえなくても問題ない



## 2.開催準備

まず、聴覚障がい学生がいるところで、音楽会を開催することについて検討しました  
**聴覚障がい者だから音楽経験が不必要ではないと結論づけ、工夫を考えることになりました**

## 情報保障の工夫

- ①歌う前には歌詞をスクリーンに投影しながら、歌詞を朗読する
- ②歌う間、手話通訳を行う  
手話通訳をする学生からは、「**歌に手話を付けることに意味があるのか？**」との疑問も出ました

## 障がい理解のために

聴衆は、**1曲は耳栓をして聴き、1曲はアイマスクをして聴くこと**にしました



### 演奏者は♪

少しだけ聴覚障がいの方々に歩み寄れた気がした

### 手話通訳者は♪

「歌に合わせて手話通訳？」という不安があった

伝えようという情熱さえあれば、口や表情、手振りなどから、相手に伝わるんだ！

これからも情報保障に工夫した研修合宿の取り組みを続けていきます！